

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会
開 催 日 時	平成29年7月16日(日曜)10時00分から11時30分まで
開 催 場 所	枚方市役所 別館4階 第3委員会室
出 席 者	会長：下村泰彦 委員、副会長：加嶋章博 委員 委員：川添賢史 委員、岸田陽子 委員、原田隆史 委員
欠 席 者	なし
案 件 名	1. 技術提案審査 2. ヒアリングについて 3. その他
提出された資料等の 名 称	1. 参加資格審査結果 一覧表 2. 香里ヶ丘図書館建替工事設計業務に係るプロポーザル 評価シート 3. 技術提案書 ※事前配布 【参考資料1】第1回香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会 会議録 【参考資料2】香里ヶ丘図書館建替工事設計業務に係るプロポーザルの ヒアリングの実施要領 【参考資料3】香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会のヒアリングの傍 聴について
決 定 事 項	案件1.技術提案審査について、技術提案書を評価基準に基づき紙面上 審査を行った。
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第6条に該当するため
会議録等の公表、非公 表の別及び非公表の 理 由	最優秀提案者等の選定後に公表
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 (事 務 局)	市駅周辺等活性化推進部

審 議 内 容

会 長：ただ今より、「第2回香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会」を開催いたします。本日は、第1回で確認しましたとおり非公開としていますが、会議録の作成にあたり、会議内容の録音を許可します。それでは、事務局から委員の出席状況や資料の確認をお願いします。

事務局：委員の出席状況について、ご報告します。本日の出席委員は5名で、枚方市附属機関条例第5条2項により、会議が成立していることをご報告します。続きまして、資料の確認をさせていただきます。資料は、次第、資料1から3、参考資料1から3となっております。資料3の技術提案書については、事前配布させていただいております。なお、技術提案書につきましては、各者の知的財産を保護する観点から、最優秀提案者以外の提案内容は非公表とします。そのため、取り扱いには十分ご配慮いただきますようお願いいたします。最後になりますが、第3回の審査会終了後には、技術提案書を含め、ご不要な資料は、事務局で引き取らせていただきますので、よろしく申し上げます。

1 技術提案審査

会 長：それでは、次第1「技術提案審査」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局：資料1をご覧ください。既にお伝えさせていただいておりますが、本プロポーザルの応募には3者からの参加表明がありました。これら3者の参加資格について、市で審査した結果、3者すべてが本プロポーザルの参加資格を有していることを確認しましたので、3者に対して技術提案書の提出を要請しましたことをご報告します。なお、提案書については、企業名を伏せて、A-1、B-1、C-1という形で表記させていただいています。また、評価項目である「企業及び技術者の業務実績」と「価格提案」の定量項目については、第3回審査会の「技術提案審査の終了後」にご報告させていただきたいと考えています。本日は審査会として紙面上の評価を決定していただき、第3回審査会のヒアリング後の審議では、加点評価を含めた同様の方法で進めさせていただいた上で、最終確定の評価を行っていただきます。以上です。

会 長：事務局から説明のあったとおり、企業名は伏せた形で審査を行い、「企業及び技術者の業務実績」と「価格提案」の評価項目については、技術提案審査の終了後に加える形でよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

会 長：早速、各応募者の技術提案内容について審議していきます。皆様には事前に提案内容をご確認いただいておりますので、いろいろな視点からご意見をいただき、審査会の合議として評価をまとめたいと思います。なお、最終の評価は、次回のヒアリング後に行います。それでは、「評価項目 まちづくり（地域の在り方についての考

え方)」について審議を行います。

委員：地域の在り方については、大きな意味で公園と図書館、地域を繋ぐコンセプト、具体的な構想がしっかり描かれているかを評価の基準としております。C-1は「みどりを活かし未来へつながる持続可能な都市」を目指すというテーマのもと、将来の姿、目標が定まっています。しっかりと現況課題と地区再生のイメージが提示されている点が評価できます。A-1は「図書館と公園」というテーマで、貸出しの中心から、人と人との出会いを生み出す場の創出がサブテーマとして描かれていますが、風景イメージや整備イメージが付きづらい印象で、どちらかというソフト面の整備が強調されている印象があります。ただ、公園内の樹木の整備・管理についての現況課題の解決手法については述べられている一方で、より良くなるための波及効果についての提案についてC-1に劣っているように感じます。このプロジェクトで大事なのは、現況の問題点を把握しながら整理、解決はよく提案される内容であり、現況の問題点を整理する場合、現状よりは良くなるが、更にすごく良くなるものではない。香里ヶ丘団地や地域の課題、今回の整備によって波及効果を提案してもらうことがポイントであり、問題提案型だけではなく、さらに提案されているかを評価したいと思います。B-1は、まちづくりや施設計画についてはしっかり描かれていますが、目標設定についての観点がC-1に比べて、やや劣る印象を持ちます。

会長：他のご意見をお願いします。

委員：3者それぞれの内容ともに内容はしっかり示されていますが、C-1については、後々の施設計画等の中身の提案につながるようなビジョンが描かれています。「みどりを活かして未来へつながる持続可能な都市」は、ビジョンが枚方市の都市計画の考え方や緑の基本計画の考え方と合致しています。香里ヶ丘地域のブランディング化を見据えたビジョンとして、香里ヶ丘モデルが示されており、その中で、まち・人・風景それぞれの繋がりを新しい機能を持つ図書館によって、まちづくりが実現するという姿勢が見受けられました。

委員：ターゲットとゴールの明確にしておく必要があります。A-1とC-1については一定の具体性のある提案となっています。特にC-1についてはゴールの部分で、具体的な施設計画の中に示されています。

委員：コンセプトの中で一番よく描かれているのがC-1でしたが、香里ヶ丘地区をどのように捉えるかという観点から考えた場合、実際に図書館を利用する人の範囲についても考慮する必要があります。市の図書館利用想定範囲を従来の1.2km範囲から1.5kmに変更することは重大なコンセプトの変更になると考えています。B-1はその点の提案がなされています。その為、B-1とC-1を同等の評価と考えます。

会長：「地域の在り方についての考え方」について、各委員のご意見を踏まえるとC-1にA評価、B-1については圏域の拡大を意識した提案となっていることから評価できるものと考えられますが、いかがでしょうか。

委員：ランク付けについて、3者で相対的に差をつけたものとする必要があるのでしょうか。

会長：3者の中で一等を出すのであれば相対的評価が望ましいですが、例えばA評価が2者から出ても特段の影響はないと考えています。

委員：コンセプトだけをとると、B・1も評価したいところですが、以下の項目では示されていないのでA・1とは同評価ではなくて良いと思います。

会長：見方が変わることも考えられることから、場合によっては、他の項目の評価時に、前の評価項目に戻ってランク付けの見直しもあり得ると考えております。ではその他に意見がなければ、A・1はB、B・1はC、C・1はAとしますがよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

事務局：圏域についての補足説明させていただきます。市では概ね利用想定範囲を半径1から1.5kmで設定しており、説明時にはその中間となる概ね1.2kmとして説明しています。香里ヶ丘図書館基本計画では閲覧室の倍増などによる利用範囲の拡大も見込み、1.5kmとしています。

会長：圏域についての言及を進めると、公共交通の体系や坂道等へのバリアフリーの対応等の内容も述べる必要が出てくることから、本事業の評価に当たり、これら进行评估する項目はありませんので参考説明として捉えます。それでは、次の評価項目に移ります。「施設計画（地域課題の解決に向けた考え方）」について審議を行います。各者の提案についてお気づきの点のコメントをいただけますでしょうか。

委員：C・1については、全体を通して、「本の道をつくる」というコンセプトのもと多目的室等どのような場を設けるかについての取り組みや、様々な人々に対するサービスの提供の提案がなされていることから高く評価してよいのではないのでしょうか。B・1については、地域での従来の多くの方が利用されているという図書館の利用状況に基づき、児童書架の大きさや機能を踏襲されています。一方で拠点図書館の考え方として外との繋がりを重視しているように感じます。また多目的室についての配慮がなされている点で評価してよいのではないのでしょうか。A・1については、滞在的空間の創出、地域課題の解決に向けた対応を提案しており、また地域資料を提供しながら香里ヶ丘の魅力を伝えるために学習テラスや記憶のエントランスの配置がなされています。一方で、具体的な図書館の設計というよりは見栄えやイメージが先行されているようにも感じます。従って、C・1が最も高い評価と考えます。

委員：C・1については、概ね良い評価と思います。A・1については、2階の施設計画が具体的でわかりやすく、従来の図書館の本を読むという空間から人が集まるコミュニティスペースという点が香里ヶ丘図書館に求められているコンセプトと一致します。その為、A・1とC・1が高い評価となるのではないのでしょうか。

会長：ご意見からしますとC・1がA評価、B・1がB、A・1については評価が分かれること

から、追加のご意見ををお願いします。

委員：A-1は、施設計画と以下の項目「施設内の空間についての考え方」と重複する部分があるため、切り分けて考えられる提案となる場合、評価はBで良いと思います。

会長：A-1の提案では屋上緑化の設え方も大事になってくると考えます。例えばソメイヨシノの植樹を行った場合、1,500～1,800cmの土圧が確保できなければ大きく成長せず、また、耐えうる荷重も大変になり、ひび割れによる雨漏りも懸念されますが、これらの課題解決について提案内容からは読み取れず不安が残りますが評価としては、A-1はB、B-1はB、C-1はAとなりますがいかがでしょうか。

各委員：異議なし

会長：次も同じ「施設計画（配置計画及び敷地条件の制約についての考え方）」についてですが、各者の提案についてコメントをいただけますでしょうか。

委員：A-1については、敷地の最大限活用に関する直接的な記述はそれほどありませんが、前段の評価項目より、テラス、公園や隣地との関係からビジョンが示されております。駐輪、駐車スペースの考え方については明確に台数確保、身障者用駐車スペースの配置等の具体的手法も示されております。B-1については、バリアフリーのアプローチ、駐輪や駐車場の確保については、ゆずりあいの駐車場というように丁寧に記述されており、印象は良かったです。C-1については、具体的な手法の提案がなされており、B-1と比べて余裕を感じ、また、室内外の関係性の向上として圧迫感の軽減、風景についても示しています。評価としてはA-1がB、B-1とC-1はAと思います。

委員：B-1とC-1について、斬新な空間提案となっています。A-1については従来型図書館で重厚感のある提案と感じました。コンセプトや2階の使い方としては斬新なアイデアをされているのに、いわゆる図書館となっており、他の項目は他の提案者に比べて劣る印象です。

会長：ここでは、図書館の配置だけでなく、公園との一体性も評価の観点としてみたいと考えております。公園のゾーニングとの一体性をみた場合、A-1と比べB-1の方が優れています。委員の意見を集約しますと、評価としてA-1はB、B-1はA、C-1はAとしてよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

会長：次の評価項目も同じく、「施設計画の（施設内の空間についての考え方）」についてです。こちらも建築要素の部分になりますのでご発言いただけますでしょうか。

委員：A-1については、フットパスを提示しながら、多様な滞在スペースを繋げていく考えは魅力的な考え方であり、外部の桜並木と施設を繋ぐ構想に魅力を感じました。エントランスやお話しスペース、緑に包まれた閲覧、多様なテラス等の様々な滞在を誘導するような提案が見受けられ印象は良かったです。B-1については、比較的オーソドックスな図書館の必要な機能の考え方、手法が示されておりますが、説明

がやや抽象的で一般的な内容と見受けられました。動線については利用者だけでなく職員の動線についても言及がありましたが、他者でも同様の提案がありますので B-1 は標準的な考え方が示されているように思います。C-1 については、明快なゾーニングに対する考え方、2 階の多目的室の多様な利用方法の提案に柔軟性を感じました。また、1 階も玄関ロビー、ギャラリー等の多様な用途、近隣イベントの開催についての提案も盛り込まれており、有効な活用法についての具体的な説明はなされておりませんが、周辺施設との連携が想定できる提案で印象が良いです。なお、職員の動線については 3 者とも同様に提案がなされていました。

会 長：施設内の提案について、お気づきの点があればお願いします。

委 員：特に C-1 については周辺施設との連携を想定できる提案内容となっています。B-1 についても、様々な計画が提案されておりました。特にこの香里ヶ丘地域では、児童に対する気遣いが重要と考えました。一方 A-1 の提案については、非常に問題のある内容となります。実際の動線計画、施設の在り方の利用者に範囲で「幅広い利用者」を想定した施設の在り方おりますが、「幅広い」というのを広く捉えすぎており、利用者層をあまり想定していないかのような全体的なフラットな空間、児童書架を一箇所にまとめて、おはなしスペースと分離し配置することは児童たちにとって移動が困難であります。もう一つの問題として、「閉架のセミオープン化」ですが、決して「開架のセミクローズ化」であってはなりません。本事業の要求水準として開架冊数 5 万冊から 6 万冊の確保を条件としています。整備後は開架スペースの拡張をするという目的がある中で、開架書架スペースを減らし、閲覧スペースに充てるという考えは現在の利用者数を鑑みると適切ではないと考えられます。他自治体の前例について記載されていますが、こちらはあくまでも閉架のセミオープン化は実施されているが、開架スペースを減少して、開架のセミクローズ化をしての実施した例はなく、閉架書架を増加することは図書館利用者の減少に繋がるとするデータもあります。また地震の時に集密書架が倒れたケースもあります。様々な点から閉架のセミオープン化を前提とした計画は問題が大きいと考えます。以上より A-1 の提案内容は要求している水準を満たしておらず、他者と比べると相当低い評価となります。

会 長：委員のご意見の通り、A-1 の提案内容にある閉架のセミオープン化という専門的な課題が見えてきましたが、これに加え、他に何かご意見をお願いします。

委 員：A-1 について、私も委員と同じ考えで、閲覧スペースが増えることは良いことですが、開架の集密書架の採用によって利用者が本を選ぶ楽しさが損なわれる懸念があります。

会 長：先ほどありました委員のご意見の通り、A-1 の提案内容にある動線計画についても児童スペースと書架が離れている点で問題があるように感じます。

委 員：図書館の運営にも支障が生じる懸念があります。C-1 については十分に考えられて

おり、B-1については工夫次第で可能であると考えられます。

会 長：委員のご意見を集約しますと、評価としてはA-1がC、B-1がB、C-1をAとなりますがよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

会 長：次の評価項目に進めます。「維持・運営管理への配慮（効率的な維持・運営管理の実現に向けた考え方）」について審議を行います。こちらは、ハードとソフトの両面から評価していく部分になりますので、各者のハード面の提案についてお気づきの点があればコメントをいただけますでしょうか。

委 員：施設運営としては、A-1とC-1は、フレキシブルな空間づくりを目指しているように受け止めました。A-1については前項目で述べられた書架の配置については懸念の点もありますが、提案はなされています。C-1については、「本の道」によって主動線をはっきりさせながら、多様な施設との並べ方を検討していると感じます。図書館運営としては、A-1とC-1は、動線を考慮しながら計画を組んでいます、特にC-1は主動線とカウンタースペースの配置を上手く処理されています。コスト管理としては、C-1は開架・閉架を1階に配置することを示しながら、2階の多目的室に一部図書館利用機能を持たせているとあり、少し積載上の矛盾が生じると考えています。環境負荷については、3者とも効果的な空調システム・自然エネルギーの導入について示されており、提案内容に差はありませんでした。B-1については、抽象的な提案内容となっており、実現に向けた具体的な手法が見えにくいように感じました。従いまして評価序列はA-1とC-1は同レベル、次にB-1となります。

会 長：ソフト面の提案についてご意見をお願いします。

委 員：B-1とC-1については同意見です。C-1については、様々な観点を考慮した動線が組まれているが奇をてらったものではなく、効率的な維持管理・運営に向けた方針といえます。B-1については、建築面については対応がなされていると考えられますが、書きぶりとしてはC-1に劣る印象があります。また、地下駐車場の導入を提案しており、管理コストに懸念があります。A-1については、前項目でも挙げた閉架のセミオープン化、滞在的空間を創出するための高い書架の採用が提案されており、開架集密書架を採用した場合、蔵書管理や書物の入替等メンテナンスが極めて困難となると考えられます。仮に閉架分を書架の高い位置に保管する場合でも入れ替えが困難であり、さらに書物が落下しないよう計算して保管する必要がある為、現実的な導入案とは言えません。動線等で評価すべき点を考慮しても、A-1については低評価にならざるを得ません。評価としては、A-1がC、B-1がB、C-1はAとなります。

会 長：委員の講評を伺ったところでは、C-1がA、B-1はB、A-1については、AとCに評価に分かれております。維持管理はハードとソフトの両面で評価する必要があ

り、範囲が広がりますが、他に何かご意見をお願いします。

委員：A-1 と C-1 とは差を付けるべきだと思います。

委員：3 者を比較した際、B-1 は具体的なコスト削減手法について示されておらず抽象的な内容でしたので、評価を下げるべきです。建築基準法上の妥当性で A-1 が満たされているかどうかはわかりませんが、B-1 と比べ、安全性・課題解決に向けた具体的な配慮を感じた為、A-1 の方に評価を付けるべきではないでしょうか。

会長：A-1 について、ハード面は概ね A 評価、ソフト面は C 評価と評価の基準が分かれています。中間として B 評価とすべきでしょうか。

委員：A-1 のランニングコストに関する提案は細かく説明されていますが、C-1 についても同様に提案がなされていることから、コスト面では A-1 と C-1 で差はないと考えられます。一方で委員のご意見でもありました通り、図書館の運営については、平面や動線計画、運営により図書館職員がどのように動くかを想定しますと、A-1 は公用駐車場からサービスヤード、事務室への動線は組まれています、カウンターまでの動線が途切れています。その為、A-1 の提案には貸出の観点に課題が残ります。従って、A-1 の評価を下げるべきだと思います。

会長：運営面では問題がありますが、建築面で建て方の工夫を提案している面を評価し、A-1 を B 評価としますが、よろしいでしょうか。

各委員：異議なし

会長：それでは、評価は A-1 を B、B-1 を B、C-1 を A とします。最後の評価項目に進めます。「業務実施方針（業務の実施方針）」についてです。市の想定事業費とスケジュールを踏まえ確実にこのプロジェクトを進めていく上での実施体制などを評価する項目になりますが、各者の提案についてご意見をお願いします。

委員：市への連絡や連携の方針については、当然出来ることを前提として、事業スケジュールや事業予算の整合性については提案内容の段階で無理のないものなのかを評価しております。A-1 は具体的なポイントを把握しており、技術面のみならず全体的に妥当性のある内容となっていた為 A 評価、B-1 は抽象的でスローガンのような印象があり C 評価、C-1 の提案内容としては A-1 に近い A 評価と思います。

会長：企業名が非公表となっていますので、チーム体制について抽象的に捉えてしまうことは仕方ないことと考えられます。現在の評価としては A-1 を A、B-1 を C、C-1 を A としますがよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

会長：本日は最終評価ではありませんので、提案書面だけではどうしても判断できないところでもあり、ヒアリング審査をもとに最終評価を付けたいと思います。それでは、以上で「技術提案審査」を終了します。冒頭にも確認しましたが、現時点では仮評価として扱い、次回のヒアリングを踏まえて、最終の評価をまとめたいと思います。

２ ヒアリングについて

会 長：それでは 次第２「ヒアリング項目について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局：参考資料２をご覧ください。７月２９日に行っていただきます、一般公開の場でのヒアリングでは、各者の説明が１５分以内、質問を１５分程度としています。限られた時間の中でのヒアリングになりますので、予めご質問内容をご準備いただきますようよろしくお願いします。なお、ヒアリングの順番は、提案書の到着順より C-1、B-1、A-1 の順となっております。

会 長：各提案者のヒアリングの合図の担当は誰が行うのでしょうか。

事務局：事務局が担当します。

会 長：ヒアリングに際して審査に関する新たな資料はあるのでしょうか。

事務局：ありません。

会 長：パワーポイントによるプレゼンテーションとなるのでしょうか。

事務局：はい。

会 長：ヒアリングは、原則、自由質問ですので、本日の内容以外にも、ご専門の分野に関するご質問があれば予めご用意いただきますようお願いいたします。また、ヒアリングまでに気づかれたことがございましたら、事務局までお伝えいただきますようお願いいたします。

３ その他

会 長：それでは、そろそろ時間となりました。次第３「その他」の連絡事項として、事務局から何かありますか。

事務局：本日の資料について、ご不明な点などがありましたら、恐れ入りますが、７月２０日までに、メールなどで、事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。本日の会議録につきましては、事務局で案を作成して各委員にご確認いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

会 長：次回は、７月２９日の１３時から開催となります。公開でのヒアリング後に最優秀提案者の選定を行い、市へ答申させていただく予定ですので、長丁場になりますが皆様よろしくお願いします。これにて第２回審査会を終了します。